2016. 9

強化板工法／追跡調査より

series2

透水の完全確保

～水溜り　すべり　ガタツキの防止に～

昭和の時代に開発された透水性舗装。その目的は、街路樹の育成や都市河川の氾濫防止であった。平成の時代に入るとこの目的は、バリアフリーな舗装に移り、透水性舗装は一挙に普及することとなった。

すなわち、舗装の排水勾配を小さくする必要があるバリアフリー舗装は、排水勾配が小さくなるがゆえに舗装面に水溜りが起きやすくなった。この、水溜りを防ぐために舗装の透水化が重要となったのである。

従来、平板舗装は、そのガタツキを防ぐために空練モルタルが使用されていた。透水化に際して、この空練りモルタルは雨水を浸透させないことからこの空練りモルタルに変わる方策が種々模索された。

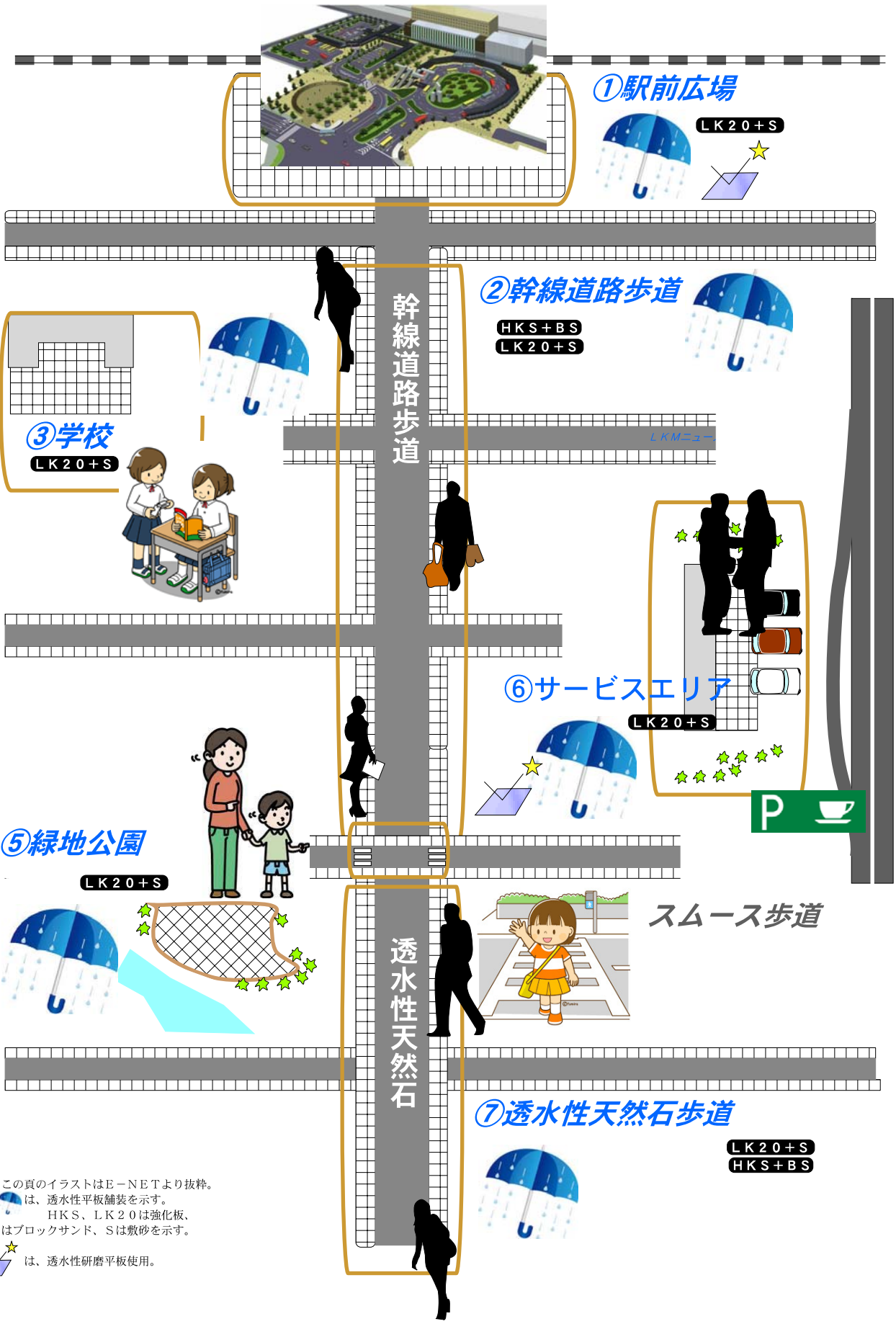
ガタツキを抑えるために強化板を用いる「強化板工法」は空練モルタルに変わって敷砂が使用できることから透水性平板舗装にはもっぱらこの強化板工法が用いられるようになった。

透水性研磨平板の使用に際しては、水溜りの防止に加えてすべり防止が要求され、透水能力の重要性が更に高まった。

また、舗装技術の進歩は、天然石平板舗装の透水化を実現させている。

PAVTON

透水性平板には、なくてはならない強化板工法



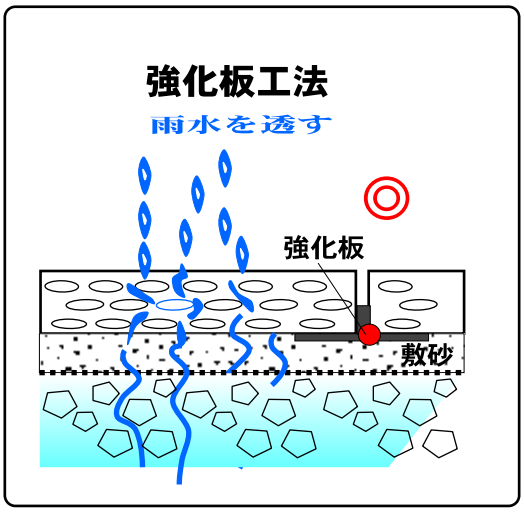
注　この頁のイラストはＥ－ＮＥＴより抜粋。
は、透水性平板舗装を示す。
ＨＫＳ、ＬＫ２０は強化板、
ＢＳはブロックサンド、Ｓは敷砂を示す。

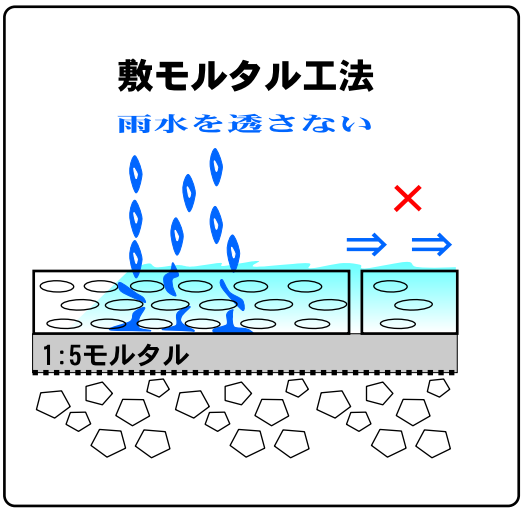
は、透水性研磨平板使用。

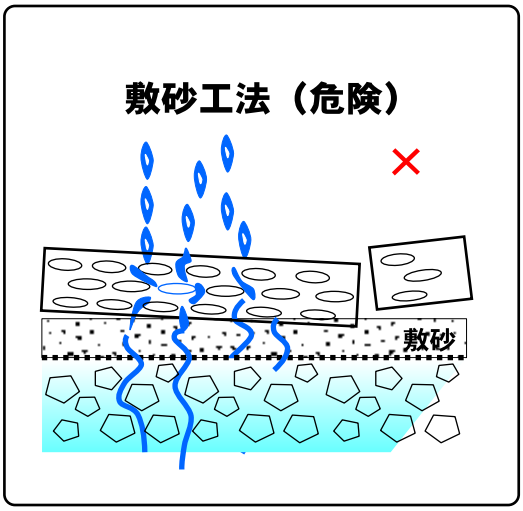
透水性平板には、

雨水をしっかり透す　**「強化板工法」を！**

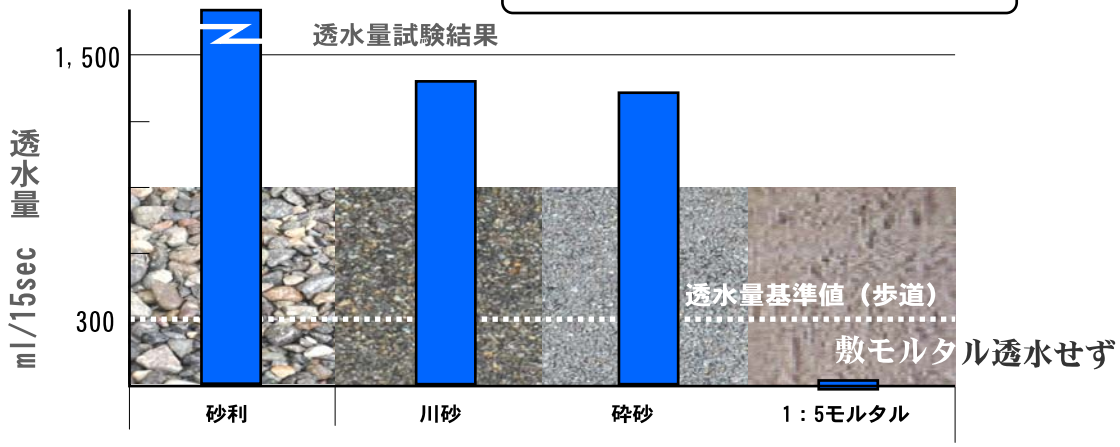
　透水性平板には、雨水が地中まで浸透し、段差やズレが起きない、「強化板工法」をお勧めします。
在来の敷モルタル工法では、雨水が地中に浸透しなく透水性舗装になりません。かといって、単なる敷砂工法では、平板がすべって段差やズレなどの破損が起き、危険です。







透水量試験器



駅前広場　　供用 6 years正常

安全対策　　”すべり”　の防止

素晴らしい景観の研磨透水性平板。この景観のための研磨透水性平板の使用に際しては、水溜り防止対策のほか、特に”すべり”防止対策が極めて重要。地中まで透水しない従来の敷モルタル工法に代わって、しっかり地中まで透水させる「強化板工法」が薦められる。

推奨ブロック／透水性研磨平板　300/300/60
標準断面図／標準断面図　http/pavton.jp 設計図書Ｔ００２

無電柱化　歩道歩行部　　供用４years正常

バリアフリー対策　水溜りの防止が重要

排水勾配を小さくしたバリアフリー歩道。水溜りが起き易い。この水溜りは透水性舗装で解決。そのためには、地中まで透水させる構造が大切。透水量の確保と圧密沈下によるガタツキ防止で強化板工法が採用される。

推奨ブロック／透水性平板　300/300/60・80
標準断面図／http：pavton.jp
設計図書Ｔ００２　Ｔ００５

学校校庭　　供用 3 years正常

ガタツキの防止

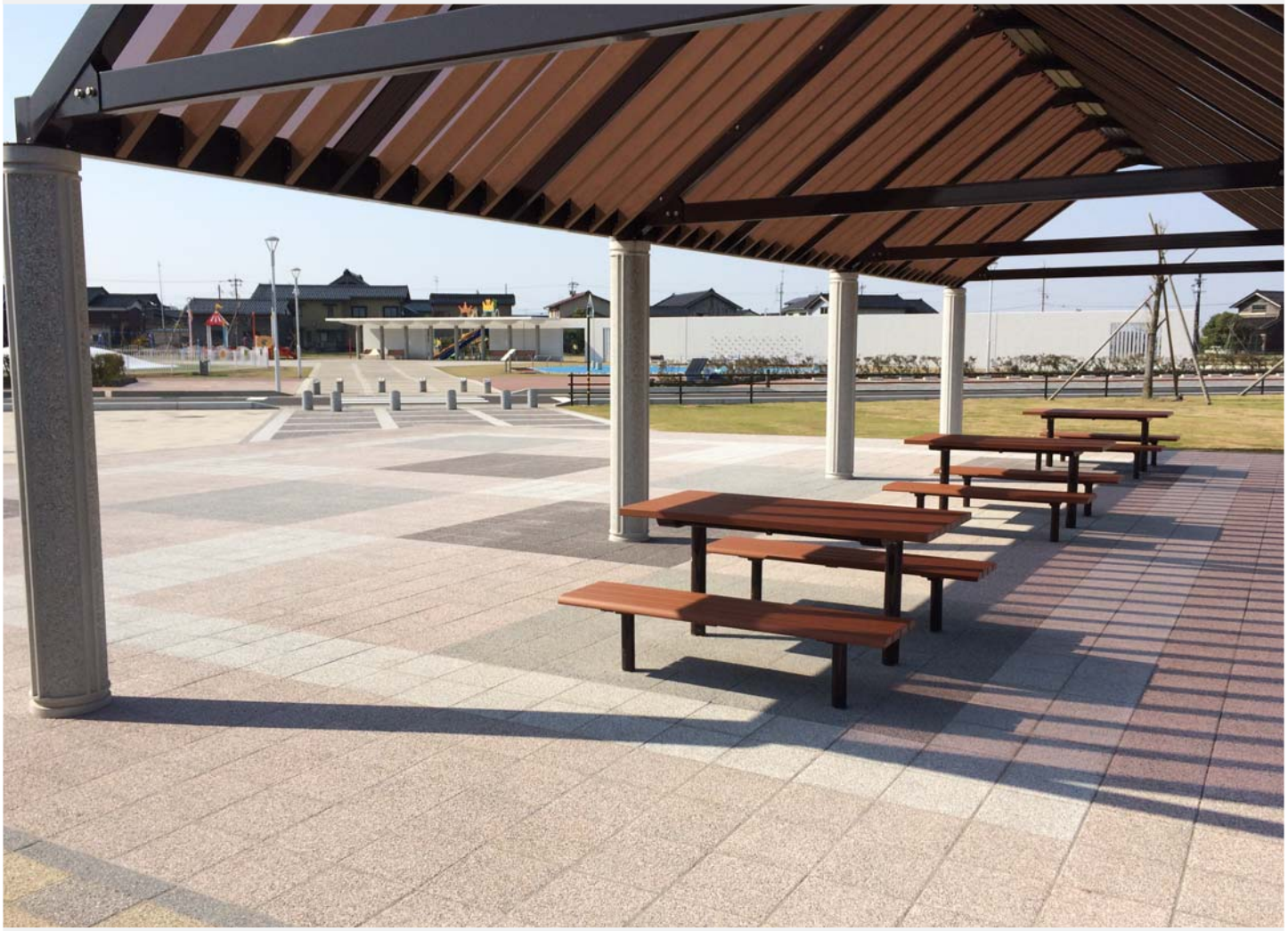
学校には、景観とともにガタツキの防止が求められる。ガタツキの多くは、給食運搬車や宅配便等の車の乗り入れによって発生。この段差やガタツキを防止するためにＳＢＦシステムが採用される。

推奨ブロック／透水性平板
300/300/60
標準断面図／
http：pavton.jp
設計図書Ｔ００２

公園広場　　供用0. 5years正常

安全対策　水溜りの防止に　圧密沈下によるガタツキの防止

透水性平板を用いた公園。透水量の確保と圧密沈下による平板のガタツキを防止するために強化板工法が採用された。



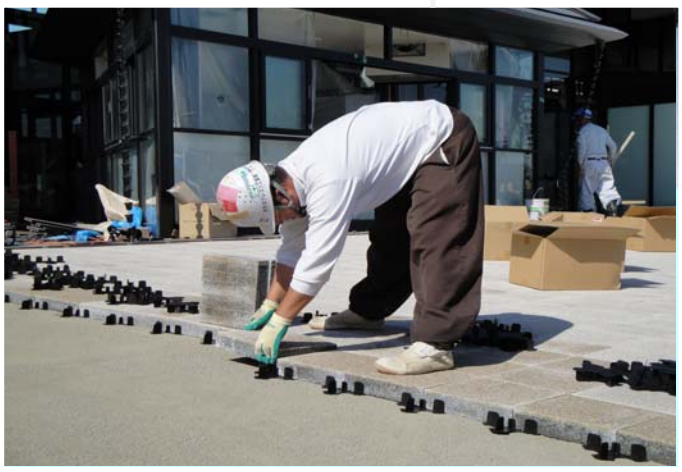
推奨ブロック／透水性洗い
　出し平板　300/300/60
標準断面図／
　http：pavton.jp
　設計図書Ｔ００２

高速道路ＳＡ　　供用７years正常

安全対策－すべり防止　　バリアフリー対策－水溜りの防止

透水性研磨平板の使用に際しては、水溜り防止のほか、特にすべりに対する安全対策が重要。透水性に優れた、敷砂によるＳＢＦシステムが必須。敷モルタルを用いる従来工法は、敷モルタルに透水性がないことから、透水性研磨平板には適用できない。

推奨ブロック／
透水性研磨平板
300/300/60
標準断面図／標準断面図
http/pavton.jp
設計図書Ｔ００２



公園広場　　供用２years正常

安全対策　圧密沈下によるガタツキの防止に

公園、広場、一般歩道などでブロック相互の段差に出会うことがしばしばある。供用中に、路盤の圧密沈下が起き、平板が沈下するときにガタツキが発生する。圧密沈下は避けられない。ゆえに、沈下が発生しても舗装面を滑らかに変形させガタツキを防ぐことが重要。強化板工法が採用されるゆえんである。

推奨ブロック／透水性洗い出し平板　300/300/60
標準断面図／
http：pavton.jp
設計図書Ｔ００２

駅前広場　　供用 3 years正常

安全対策－すべり防止　　バリアフリー対策－水溜りの防止

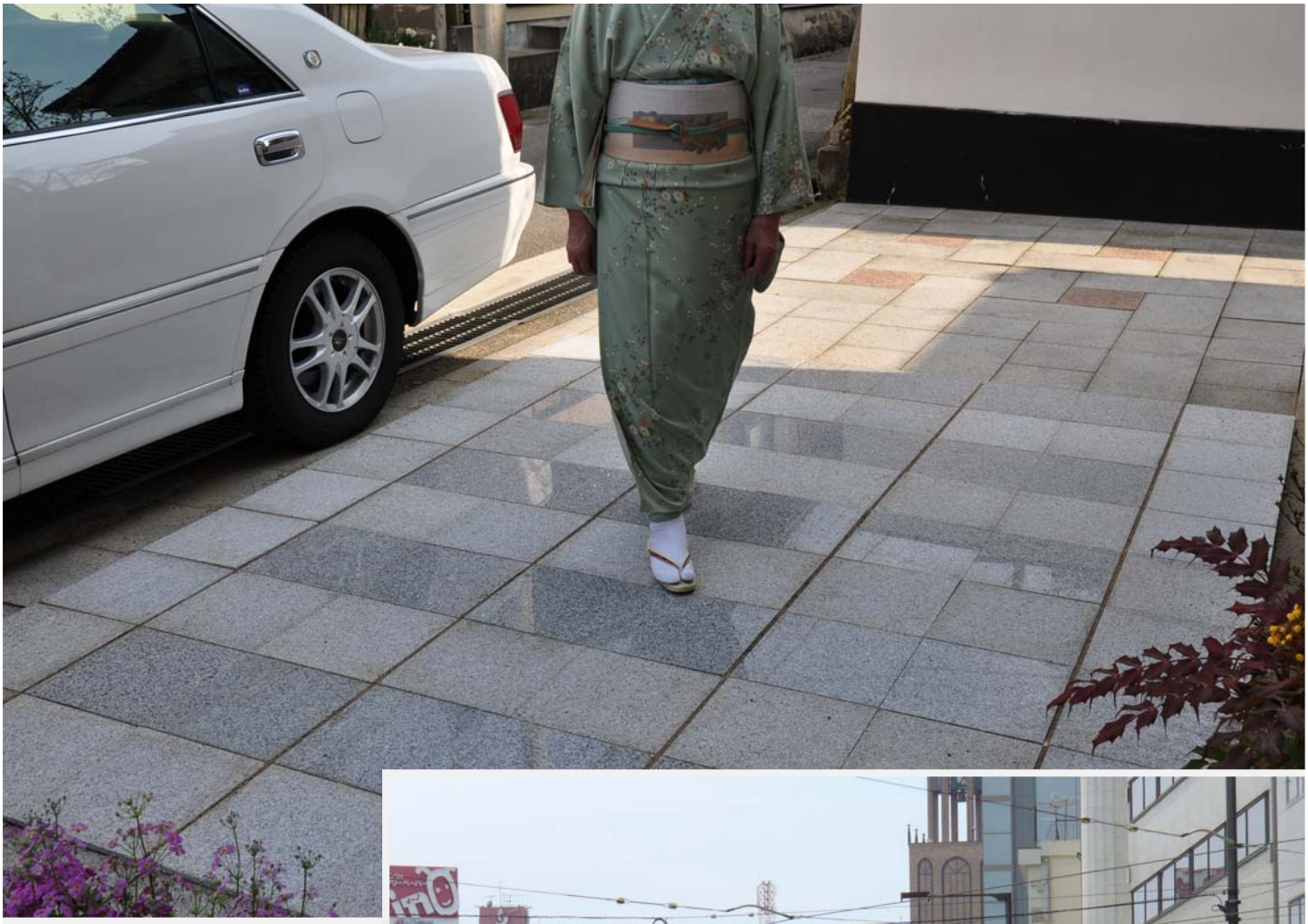
黒部川渓谷を走るトロッコ電車で有名な富山県黒部市。北陸新幹線、黒部宇奈月温泉駅が完成した。本新駅の広場には、景観に優れた研磨透水性平板が採用された。その際、広場の水溜りを防ぐべく、かつ研磨平板のすべりを防ぐため、雨水を地中までしっかりと浸透させる強化板工法が採用された。

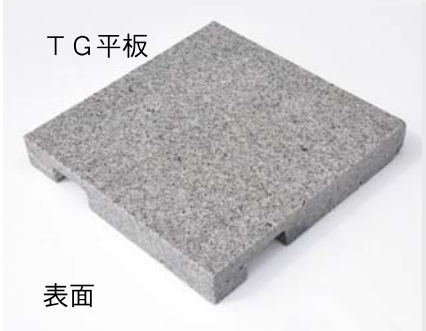
推奨ブロック／透水性研磨平板　300/300/60
標準断面図／標準断面図　http/pavton.jp 設計図書Ｔ００２

透水性天然石平板舗装　　ＴＧＰシステム　　水溜りとすべりを抑制

天然石平板舗装の透水化を実現

　これまで、数ある舗装の中で唯一透水化が未着手の天然石舗装。ＴＧＰシステムで実現している。透水性天然石平板舗装システム「ＴＧＰシステム」とは、空目地から雨水を浸透させる工法。雨水の効率的浸透と目詰まりの抑制には裏面にラッパ型取水口付の導水溝を有するＴＧ平板で、段差防止には強化板工法で対処している。





推奨ブロック／透水性天然石ＴＧ平板
標準断面図／http：pavton.jp
　　設計図書ＴＧＰ０１～０５

PAVTON

株式会社津田ペイブトンテクニック

〒920-0921　金沢市材木町16-13
ＴＥＬ076-221-9712　ＦＡＸ076-221-9713
E-meil　tt.pavton@adagio.ocn.ne.jp
URL　pavton.jp